

指定管理施設（サンホーム滝呂）事業評価表
滝呂老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H29年度	H30年度					
いきがいづくり、教養講座運営事業		パソコン教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		ワード応用	10	24	4～9月毎週水曜日	いきがいづくりとして就業や生活に役立つ技術を身につけてゆく。			24	187			30年度からは、太平老人センター基礎コース以外の、滝呂・太平・南姫のパソコン教室は廃止、卒業生にはパソコンサークルに移行してもらおうなどした。ただし、受講生からの強い要望により、シニアフアイト教室内で11～12月に5回コースを実施。さらに、31年度から半年12回実用コースを2回実施予定。
		エクセル応用	10	24	10～3月毎週水曜日				24	266			
		小計		48					48	453	0	0	
		趣味教養の教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		マクラメ教室	15	24	第1・3火曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。			22	235	23	233	手芸をやりたい方々に人気。季節の飾り物を中心に実施。受講生12人。講師が各自レベルに合わせて指導してくれるため長年通して受講される方が多く、数少ない『技術系』の教室として、初心者まで幅広く、充実して受講いただくことができた。年1回の作品展出品も意欲につながっている。
		セラリーナ教室	10	24	第2・4火曜日				24	294	24	310	新規3人を含み受講生16人に増加。滝呂発祥の楽器、ということで、秋まつりや桜まつり等イベントでの発表や、デイサービスやサロン等への慰問活動も精力的に行い、やりがいにつながっている。休みも少なく安定した教室となっている。
		ペン習字教室	15	24	第2・4水曜日				24	420	24	411	受講生22人中新規5人で実施。団塊の世代など入って世代交代も進んでいる。各自のレベルに合わせ、ボールペン、筆ペン、万年筆などを懇切丁寧に教えてくださる講師が人気。体調不良や家庭の事情で4人の途中辞退者はあったが、休む方も少なく、キャンセル待ちもある人気の教室。
		初心者健康麻雀教室A	12	24	第1・3月曜日				24	304	23	393	未経験者を中心として開講。人気がある為、30年度から台を増やし定員を12人から16人に増員。新規8人を含む受講生17人、8人が男性。『健康的で綺麗な(飲まない吸わない賭けない)麻雀』を教えて頂き、初心者の女性も入りやすく、60代が中心で、団塊の世代の男性獲得につながっている。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
1		初心者健康麻雀教室B	12	24	第2・4木曜日			24	242	24	276	Aクラスを卒業した方の受け皿として、中級レベルとして開講。12人中9人が男性と、男性利用者獲得に繋がっている。高齢(80代中心)クラスだが、認知症予防、閉じこもり予防としても人気。年度末には『おさらい会』という大会も実施。上達具合を確認でき、意欲にもつながっている。
		混声歌声教室	50	12	第2火曜日			11	331	11	348	受講生40人。男性7人に増加。音楽療法士の講師が、歌脳トレや本格的な三部合唱も盛り込みながら楽しく講義。60代から90代まで幅広く人気。会場になるホールの暑さ寒さが厳しく、夏期冬期の参加者数が減少、また、受講生も減少しているが、秋まつりの舞台での発表は、意欲につながっている。また、秋まつりや、3月の『うさぎの会』で講師がレクリエーションを行いPRすることで、新規受講生の確保につながった。
		園芸教室	20	4	6/5・9/4 12/4・3/5			5	110	4	73	キャンセル待ちもある人気教室だが、材料の都合で定員を20人に減らして実施。講師のご厚意で、安価で季節に合った寄せ植えと技法を受講でき、人気が高い。もっと回数を増やしてほしい、との希望もあり、好評を得ている。
		男塾 料理入門編	8	12	第4木曜日			12	80	12	114	男性対象教室。使用場所の都合上定員8人のところ、新規5人合わせ11人受講。男性同士気軽で仲間ができると好評。だしの取り方や包丁の使い方など料理の基礎から実施。『みんなで楽しく作って大勢で食べるのがうれしい』と、喜ばれている。このクラス受講をきっかけに、太極拳や運動教室、パソコンなどの他教室受講や、浴場利用につながっている。
		はなまる編み物教室	12	12	第1金曜日			12	91	12	105	継続受講者は高齢化が進んでいるが、新規3人を含む13人が受講し、世代交代が進んでいる。各自レベルに合わせた指導と、講師が持つ資料から、各自希望のものを教えてもらえ、また、実用的な物が作成できるため、喜ばれている。講師の気さくさとわかりやすい指導で、和気あいあいとしたクラスになっている。月一回の教室に通うことと、自宅での制作活動が意欲につながっている。
		小計		160				158	2,107	157	2,263	
		計		208		12	12	206	2,560	157	2,263	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H29年度	H30年度					
自立生活維持支援事業		運動教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		元気印健康教室	15	10	第2・4月曜日	健康増進や体力作りを行うことによって、自立した生活が維持できることを目指す。			21	259	19	245	新規9人入り受講生17人。包括支援センターや専門講師と連携を取りながら実施し、アンケートで人気のあった『3B体操』や『ヨガ』、『メイク講座』『脳トレ』などを組み、運動だけでなく、美容や、高齢者に必要な情報発信まで幅広く楽しみながら、健康作りに生かしていただいた。単発受講も受け付けており、内容により毎月2～3人が単発受講。興味のある方に気軽に受けてもらえるよう工夫をしている。また、センター内の他教室を単発で組み込むことで、他教室受講生確保にもつながっている。
		筋力アップ体操教室	30	20	第2・4月曜日				20	527	18	529	60代の若年層を中心に、新規7人を含む38人で実施。立って行う運動を中心にリズム体操や筋トレ、バランスディスク、脳トレ運動などを行い全教室中で一番運動量、内容共に高難度で実施。また、移動老人センターで筋力アップ講師の体操教室を継続して行ったことで、さらに若年層と広範囲地域の参加者を確保できた。『激しいけれど、笑いながら楽しく筋力アップができる』と人気のクラスとなっている。
		バランスボール教室	35	48	毎週木曜日				43	1,266	45	1,017	10年担当した講師から新講師に交代し、それに伴う受講生の辞退が多く、人数は減少。しかし、新講師の工夫により、新規で若い世代の受講生も増えている。小学校長期休暇中は区民会館で『バランスディスク』を実施。毎週実施することで体調管理できる、と好評。
		太極拳教室	20	21	第1・3月曜日				19	312	19	335	受講生23人中10人新規。男性8人。他教室の男性受講生が、誘い合って新規受講するなど、相乗効果で男性受講生が増加。『男性が入りやすい』と人気の教室となっている。アシスタントも2人おり、丁寧な講師の指導も好評。60代～70代に人気で、『意外と筋力がつく』、『講師が懇切丁寧』、と熱心に通われる方が多い人気教室となっている。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
	1	ハッピーピラティス教室A	12	24	4～3月第2・4木曜日			24	234	24	255	『リハビリが元になっている体操』と好評を得て2クラスで実施してきたが、高齢化や定員超から部屋が狭いと辞める方が増え、 <u>半期でBクラスを廃止、2クラスを合併</u> して実施。『元気印健康教室』や『移動老人センター』内で単発教室を実施し、新規受講生につながるよう、PRに力を入れている。
		ハッピーピラティス教室B	12	24	4～3月第2・4木曜日			24	139	12	65	
		80代・90代の体操教室	10	24	4～3月第1・3月曜日			24	210	23	279	80代以上を対象とした転倒予防教室。他教室の高齢受講者の受け皿となり、最高齢は92歳、新規5人含め15人と増加。『80歳になったら受講したい』との希望も多くなってきた。年齢的に体調不良で欠席や、デイサービスへの移行も多いが、教室受講再開を目標にされ、教室に参加しづらくなる80代以上の閉じこもり予防として好評を得ている。『総合事業』で体力が上がった卒業生や、他運動教室でついていけなくなった方の受け皿とし、『総合事業』と同講師が行うことで、 <u>機能回復につながる運動や脳トレを実践</u> できている。
		男塾 道具を使った運動教室	8	1	第1・3金曜日			22	174	20	159	男性限定で12人が受講。即効性のある運動で『仲間ができて楽しい』と好評。退職後、外に出たがらない男性が多い中、この教室をきっかけに、太極拳や男の料理教室など、他教室受講のきっかけや、仲間づくりの場となっている。
		児童センター合同 卓球教室【新】		2	8/1 8/15 3/28			2	22	3	33	遊戯室利用に制限があるため、定期教室はできないが <u>児童との交流の場として児童センターと合同で開催</u> 。この機会を楽しみにする小学生も増えている。笠原や市之倉の高齢者卓球クラブにも声をかけ、他地域とのつながりを開拓することができた。
		小計		174				199	3,143	183	2,917	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H29年度	H30年度					
		相談事業	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		健康相談		12	第4火曜日 午前	包括支援センターの職員(看護師)による健康指導・相談、介護保険などの相談。血圧測定を行う。			11	84	12	118	包括支援センターの看護師に直接相談できる時間であるため、安心して相談に来るリピーターが多い。継続した健康管理や介護予防、家族の介護について等の相談が主。包括支援センター担当者と連携し、参加者を増やす為、前期は『ひばりエクササイズ』を同時開催し、参加者を確保。後期は、PRの掲示方法を考察したり、担当者が積極的に利用者に声がけし、入りやすくするなど工夫、開催日や開催時間を何度か変えて様々な時間帯の利用者にPRするなど努め、徐々に利用人数が増えている。
		健康相談		12	第3水曜日 午後				12	76	12	74	
		小計		24					23	160	24	192	
		計		198			12	12	222	3,303	207	3,109	
多世代交流事業		合同事業	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		ふれあい夏まつり		1	7月28日	子ども・高齢者・障がい者等誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。			1	255	1	265	児童センター/デイサービスとの合同事業。小中学生ボラやシニアボラなども多く参加し、『伝承遊び』や、『簡単ゲームコーナー』、アンケートで要望が多い各世代向けの『映画会』、学習館と連携で『昭和初期の多治見写真展』等が好評だった。また、事前にデイサービスや児童センターで作成した、館内全部を飾る提灯は『夏らしくて良い』と好評。新たに、サンホーム内の各センターを紹介するパネルを設置して、地域の方にサンホームで普段どんなことをしているかを知っていただくことができた。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		ふれあい秋まつり		1	11月17日			1	455	1	540	老人センター教室発表や、児童センター輪車クラブ発表、優が丘等の飲食物販売の他、包括支援センターと地域の薬局が協力して行う『骨密度検査と相談』を新たに実施し好評。昨年アンケート結果で意見が多かった『子どもが喜ぶコーナーづくり』を考察、地元で活躍するよさこい団体のステージや『うながっぱふわふわ』を設置して、例年より子どもや親子・家族の参加者数を増やすことができ、『孫と楽しめた』とも喜んでいただけた。また『共同募金クイズ』など実施。飲食販売でも、地域の『山豊製麺』を利用することで地域貢献及び集客へとつながっている。
		ふれあい春まつり		1	3月9日			1	600	1	600	バザー・飲食物等販売や遊び・工作のコーナーを中心に、ステージでは、アンケートで希望があった『多治見中学校吹奏楽部演奏会』や『バルーンアートパフォーマー哲』ステージなど実施。民生委員や児童センター、老人センター利用者及びサークル等にボランティアスタッフをお願いし、地域交流事業と、子どもスタッフ・シニアボランティアの発掘・活躍の場となっている。アンケート結果をもとに飲食販売を増やし、ママズカフェや東濃ワークキャンパス、うさぎの会、なごみの杜など地域団体に多数お願いし、サンホームとしても出店、飲食販売を充実させることで、地域団体の活躍の場ともなり、集客をアップさせることができた。
		児童センター合同 卓球大会		1	8月22日 3月29日			2	43	2	22	卓球大会は、児童センターと合同開催。階級別個人戦や敗者復活戦などを実施することで各自が楽しめるよう工夫。高齢者もちろん、小学一年生から中学生まで楽しみにしている多世代行事。また、『移動老人センター』で知り合った笠原や市之倉の高齢者卓球クラブにも声をかけ、多世代だけでなく、多地域交流ともなり、初心者から上級者まで楽しめる行事となっている。
		うながっぱ交流会【新】		1	8月6日					1	170	市役所の協力で実施。地域の方がうちわを取りに来館された以外に、老人センター、児童センター、デイサービスをうながっぱが回って交流し、喜んでいただくことができた。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
1		児童・老人・デイ合同 運動会		1	10月17日	5	5	1	54	1	60	運動会は、デイサービス、児童センターの幼児クラブと合同で実施。職員も参加者も仮装しての『応援合戦』や『仮装リレー』など、幼児も車いすの方も、見ても参加しても楽しめる競技で、各センターの特性にあった運動やレベル設定、どの世代も楽しめる競技により、普段できないふれあいを行うことができた。
		児童・老人・デイ合同 花もち作り		1	12月11日			1	67	1	77	花もち作りは、サークル『さくらの会』がボランティア参加し、児童センターとデイサービスと合同で実施。幼児連れ親子や一人で作ることが難しい高齢者もあるが、ボランティアや高齢者が手伝うことで、和気あいあいと交流できている。また、小学生に、各センター用の大きな花もちを作ってもらい飾ることで、多世代交流と、伝統行事の伝承の場となっている。
		児童・老人・デイ合同 ハロウィン会【新】		1				1	53			3センターの日程が合わず、同時期に行っている『運動会』内で、『ハロウィン仮装』を実施することで代替。
		児童・老人・デイ合同 節分まめまき		1	1月30日			1	44	1	58	デイサービス・児童センター・老人センターの合同事業として実施。幼児クラブと共に行い、毎年好評の各センター職員による鬼の仮装でのゲームで笑いをとったり、子どもたちの鬼退治ゲームの様子を眺めて高齢参加者もとても喜ばれた。また、星ヶ台保育園の園児が『節分魔よけのお札』を毎年届けてくださり、伝統行事を伝えるため、また地域交流の場として貴重な機会。
		児童・老人・デイ合同 新春お茶会		1	1月4日			1	100	1	74	新春お茶会は、大正琴サークルが『演奏』、『お抹茶立て』でさくらの会(手芸サークル)や個人シルバーボランティア、小中学生ボランティアと母親クラブが活躍、各センターのボランティアを集結しての運営となっている。地域の『和菓子屋 やまもり』に協力を仰ぎ、目玉となる和菓子を作成していただくことで、子どもから大人まで、多くの地域の方にお越しいただけた。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		児童合同 盤上ゲーム会		1	7月31日			1	19	1	8	囲碁サークルや利用者に協力をお願いし、小学生と『囲碁・将棋・オセロ』大会を実施。高齢者が小学生に教えたり勝負で盛り上がった。囲碁サークルが、夏場、熱中症や体調不良、死亡等により活動休止、一般来館者に協力を仰いでの実施となった為、参加者は減ったが、新たなシルバーパーボランティアの確保につながった。
		さくらまつり		1	4月14日			1	55	1	275	地域が実施する『さくらまつり』に、例年通り『ストリート囲碁』『うさぎの会飲食販売』『セラーナ発表』での参加に加え、児童センターと協力して新たに『お菓子すくい』コーナーを実施。中学生ボランティアが活躍し子どもから高齢者まで参加してもらえ、参加者に各センターパンフレットを配布することでPRを行うことができた。
		教室参加児童		1	7月～3月				16		4	小学校が臨時休業の日や早帰りの日に、体操教室を児童にも開放して体験参加。児童が頑張る姿に高齢者も『楽しかった』と言っていただけ交流の場となった。
		小計		13				12	1,761	12	2,153	
		多悠連・児童センター合同事業	定員	回数	実施日			実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	
		多悠連 愛友会(グリーンビレッジ滝呂台)		1	6月9日	地域の、センターまで来ることができない方たちと子どもたちとの交流を図るほか、ひまわりサロン、老人クラブ等の支援を行う。新規開催地を開拓し、より多くの地域で、教室や施設紹介を行い、利用者の拡大を図ることを目標とする。				1	42	多悠連『愛友会』及び児童センターと合同で毎年実施。高齢化で参加者数が減ってきたが、子どもとの交流を楽しみにされ、手作りプレゼントを事前に作って待っていて下さるなど、生きがいづくりと意欲につながっている。涼しい時期に実施することで高齢化する愛友会の参加率を上げることができた。『たい焼きづくり』『ゲーム』で『子供に戻ったみたいで楽しい』『子どもと一緒に過ごせることがうれしい』と喜ばれ、たい焼き器を愛友会で買って今後の交流に使う、と決まるほど好評だった。
		多悠連 百寿の会(滝呂台コモン集会所)		1	2月23日					1	32	多悠連『百寿の会』、児童センターと合同で実施。高齢化で会場までの歩行可能者が減っているが、子どもとの交流だからと頑張って歩いてみた。子どもの参加も増加。たい焼き作りとゲームで盛り上がり『最近休みがちで今日も迷ったが頑張って来てよかった』という意見をいただい、意欲につながった。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H29年度	H30年度					
		小計		2					0	0	2	74	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H29年度	H30年度					
		合同事業	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	
		企業タイアップ 母親クラブ合同 『チーズを愉しむ会』		1	10月25日	地域の母親クラブとの交流を図り、児童と高齢者が交流することで地域の活性化及びいきがいつくりへとつなげる			1	19	1	39	企業と母親クラブと合同で実施。うさぎの会など、調理に係る方を中心に広く声をかけ、参加いただいた。『勉強になった』と好評だった。人数制限により39人参加。
		企業タイアップ 母親クラブ・児童センター合同 『炊き出し訓練』		1	3月27日				1	45	1	39	企業と児童センター、母親クラブと合同で実施。災害時に必要最小限で調理や食器調達を行う訓練。老人センターの調理ボランティアや、男性を含む一般来館者、春休み中の小学生も多く参加して学ぶことができた。
		小計		2					2	64	2	78	
		計		17			12	13	14	1,825	16	2,305	—
地域交流事業		出前教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		市之倉移動老人センター ①ニュータウン集会所 ②なでしこサロン(東公民館) ③山百合サロン(愛岐パーク) ④西公民館 ⑤童謡の会(ハイランド) (市之倉地域福祉協議会共催)			6/18 6/25 7/10 10/25 2/18 3/28	地域の、センターまで来ることができない方たちとの交流を図るほか、ひまわりサロン、老人クラブ等の支援を行う。新規開催地を開拓し、より多くの地域で、教室や施設紹介を行い、利用者の拡大を図ることを目標とする。			8	190	6	124	市之倉では、地域福祉協議会と協力して開催。ひまわりサロンに出向く形で実施。昨年新規開拓し、サロンがなく80台前後の高齢者が多い『西公民館地域』及び、ハイランドの『童謡の会』は、継続して今年度も訪問。つながりを強化する事ができた。また、これまでサロン化を目指して年に数回行っていたニュータウン集会所は、サロン化し安定したことから、回数を減らし1回のみとした。
		多悠連 愛友会(グリーンビレッジ滝呂台)							1	28			多世代交流に移行
		40区移動老人センター【新】 (ふれあいラジオ体操) 滝呂包括支援センターと協力		1	2月13日						1	20	今年度、滝呂包括支援センターが人材育成として新たに実施している『ふれあいラジオ体操』事業において、滝呂老人福祉センターの事業紹介を実施。地域の民生委員やサロン運営者、多悠連や地域のデイサービス職員、市役所など各関係機関も集まっており、顔つなぎと移動老人センターのPRについても行うことができた。
		多悠連 百寿の会(滝呂台コモン集会所)							1	16			多世代交流に移行

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
1		笠原森下センター		6	5/17 7/5 9/6 11/1 1/12 3/2			6	132	6	122	『さくら会』としてサロンとなり実施。地域の民生委員や有志が準備等も手伝ってくださり、憩いの場となっている。老人センター職員が講師となり、体力や得手不得手に関係のないレクリエーションや歌を中心に、季節の工作なども実施して、飽きが来ないようにしている。男性参加者も増えて楽しんでいただけている。
		坂上サロン (ひまわりサロンひだまりサロン)		1	4月20日			2	31	1	20	高齢化が進み、人数は減少しているが、新規参加者も増えてきて、世代交代してきている。そばに車通りの激しい道が通り、なかなかあちこちに出かけることができないが、サロンは楽しみにしている、という声が聴ける。老人センター職員による脳トレとレクリエーションで楽しい時間を過ごしてもらうとともに、機能訓練や自宅で行える運動、リハビリ等を実施。サロン参加者で気になる方を包括等と働きかけ、総合事業に2人参加していただくなど、見守りの場となっている。
		養正移動老人センター ①ふれあいサロン養正 (養正小学校) ②TGKいきいきサロン (市役所本庁) ③創造館体操サロン【新】 (養正地域福祉協議会協力)			4/12 5/28 7/12 7/30 8/9 9/13 10/11 10/18 11/8 12/13 1/10 2/14 3/14			2	51	13	471	地域福祉協議会と連携を取り実施。ふれあいサロンやTGKサロンでは、手先のリハビリや認知症予防を兼ねて、工作と脳トレを中心に職員が実施。気になる方は包括にも連絡するなど、 <u>地域の見守り活動の場</u> ともなっている。また、創造館体操サロンは、若年層の元気な方が多いため、サンホームで活躍される体操系の先生3人に交代で月一回体操をしていただき、 <u>サンホーム事業の行事等PR</u> することで、 <u>10人程度、滝呂の教室受講</u> につなげることができた。
		小計		8				20	448	27	757	
		単発事業	定員	回数	実施日			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		懐かしの映画会			5/29 7/28 1/23 2/21 3/21	身近な地域で健康講座や季節行事を行い、地域の仲間づくりや閉じこもりを予防することを目的とする。		4	113	5	102	『懐かしの映画会』は、昭和初期の映画や認知症を題材とした映画などを実施。『若い頃を思い出した』『たくさん笑った』など喜ばれ、定期開催を望む声も多く、好評。普段風呂利用のみの男性利用者や来館されることがない地域の高齢者も参加され、新規利用者の獲得につながっている。時間帯を変えて企画し、どの時間帯にも見える方にも楽しんでもらえるよう工夫。サンホーム利用の足掛かりとなるよう31年度から毎月開催予定。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		企業タイアップ教室 『おなか元気教室』 (名古屋ヤクルト株)						3	85			各地域の公民館やサロン等かなりの場所で実施されているため、サンホームとしては実施しなかった。
		管理栄養士会 『認知症予防の栄養講座』 【新】						1	19			岐阜県管理栄養士会に依頼し、昨年開催したが、同管理栄養士による料理教室内で栄養講座を30分程度入れることで置き換え。また、2019年度、新たに栄養士講座を単発で計画中。
		6月のお楽しみ会【新】			6月13日 6月27日					2	112	『ハーモニカ演奏会』『マジックショー』を地域の団体と、民生委員から紹介いただいた慰問ボランティアさんにお願ひし、梅雨時の利用者が減る時期に新規で開催。雨で出足が遠のいていた高齢者や児童も多く来館され、好評だった。
		児童・老人・デイ合同 縁日			8月23日 8月24日			2	107	2	133	デイサービス・児童センターと合同で開催。輪投げや弓矢、ヨーヨー釣り、盆踊り、かき氷など縁日コーナーを設け、『懐かしい』と好評。小学生ボランティアが各コーナーを担当したり、高齢者とペアを組んで各コーナーを回り、老人センターのボランティアによる浴衣での盆踊り指導と、地域のフォークダンスサークルの盆踊り参加、ボランティアによる浴衣着せなど、地域の方の活躍で、盛り上がる事ができた。
		児童・老人・デイ合同 納涼 お楽しみ会		1	8月20日 8月21日			2	137	2	122	『多治見マジッククラブショー』と『滝呂太鼓』による演奏会を実施。かき氷販売を行い、涼みながらの鑑賞、暑さで家に閉じこもりがちな高齢者と児童の、出かけるきっかけにできた。
		デイサービス合同敬老会			9月15日 9月18日			1	151	2	136	デイサービスと合同で、『劇団ミナモ』による演劇鑑賞、地域で活躍する『琴姫会』の大正琴演奏、児童が考えたゲーム会を実施。子どもがゲームを進行し、高齢者とペアになってゲームを回るなど交流でき、好評を得た。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		児童・老人・デイ合同 年末お楽しみ会			12月27日 12月28日			1	122	2	140	デイサービス・児童センターと合同で『鈴姫マジックショー』と『ハーモニカ演奏会』鑑賞を実施。年末の忙しいさ中だが『息抜きできた』と 言っていたけたり、孫と遊びに来た方などで <u>にぎわった。敬老会や納涼お楽しみ会とともに、</u> <u>地域で活躍する団体や同年代の活動が、活力</u> <u>になったり、新たな趣味を見つける事にも貢献</u> <u>できた。</u>

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		正月押絵づくり						1	15			『シニアファイト』教室としてカウント。
		小計		1				15	749	15	745	
		計		9		13	13	35	1,197	42	1,502	
個人利用	1		定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		浴場			祭日と臨時休館日を除く月～金曜日 ※9/10・9/18 給水ポンプ故障で中止	個人でも気軽に安心して利用できるような仲間作りの場の提供をする。		244	11,423	241	11,768	浴場・和室(娯楽室)利用は、長年利用してきた利用者が高齢のため来館減少。毎月のおたよりや教室でのPR、毎月の民生委員会でのPRIに加え、『移動老人センター』でのチラシ配布や、多悠連交流時でのPR、笠原福祉センターへのチラシ設置等を今年度実施し、団塊の世代で、車来館や、ウォーキング中に立ち寄るなどの若年層の新規浴場利用者の増に務めた。 ボイラー等の故障による数日間の中止や、トイレ故障による半月のトイレ使用不可もあり利用者数が一時減少したが、「柚子湯」など実施、楽しんで貰えるよう工夫し利用者数を増加させた。 浴場利用者の割合は、6割程度が男性となっており、夫婦での利用者も多い。
		和室・マッサージ器使用			祭日と臨時休刊日を除く月～土曜日			293	9,843	291	9,955	和室利用は、マッサージ器・ヘルストロン・エアロバイク利用だけでなく、歓談や囲碁等と交流スペースとなっている。 教室参加者にもPRちらしを配布したり広報し、教室終わりにマッサージ機にかかる方が増加。 和室・マッサージ器等利用者の割合は、7割前後が女性。使用頻度が高い機器の定期的なメンテナンス及び改修、積極的な新台購入、寄付受入に努めている。
		血圧計			随時			293	6,357	291	7,090	入浴前後や毎日の健康管理をしていただけるよう、1階老人センターに設置。入浴や教室前後、体調チェックとして定期的にご利用いただけるようになった。また、毎日測ることで健康に注目するようになり、月2回の『健康相談』に来所されるなど、相談につなげることができるようになった。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		土曜和室利用者			祭日を除く土曜日			53	176	51	168	土曜日和室利用は、土曜の囲碁利用者や定期利用者の死去や転居等により減少したが、職員がいらない土曜日でも使いやすいよう、土曜には和室利用案内板や利用説明書きを置くなど、工夫している。
		小計						883	27,799	874	28,981	
		計		0		10	10	883	27,799	874	28,981	—
老人クラブ支援事業	1	多悠連	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		多悠連の活動に役立つ情報提供や事業PR、多世代交流事業の提供等を実施する。			随時	老人クラブの事業が円滑に行われるように連携をとり支援していく。		3	84	3	114	6/5に笠原多悠連連絡会議に伺い、事業PRを行った。(40人・年次Aにはカウントせず) また、滝呂台の老人クラブに、『移動老人・児童センター』として伺い、運動の提供と、児童との交流を実施。(地域交流事業内『出前教室』に記載。6/9愛友会42人・2/23百寿の会32人) 『サンホーム滝呂』のPRなどを行い、娛樂室や浴場、行事参加へもつなげることができた。
		小計		0				3	84	3	114	
		計		0			13	3	84	3	114	—
独自事業		その他の教室	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		きらめきクラブ		36	第2・4金曜 第3火曜	仲間と楽しく折り紙や工作、簡単調理等を行うことで、閉じこもり予防と認知症予防、仲間づくりにつなげる。		35	356	36	269	認知症予防や仲間づくりを目的に、折り紙や季節の工作、おやつや料理作りなど、参加される方の希望を聞いて内容を決める。老人センター職員が講師を務め、自由参加で気軽に参加できるようにしている。教室で習った事を地域のサロン等で教えてみえる方もあり、シニアボランティアの育成にも繋がっている。工作は1回100円、調理は1回200円徴収。調理や使える工作などが人気で収入増とながった。(29年度収入44,400円→30年度収入54,560円)

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
		一般パワリハ教室	8	50	毎週火曜日					51	276	総合事業『パワリハ教室』を卒業される方の受け皿として新規開講。資格を持った講師と職員で対応し、機械の台数等の都合上少人数教室だが、総合事業の半年から延長して教室を受講することで「円背が良くなり背中を伸ばせるようになった」「歩きが楽になった」など効果も高く、「受講費が上がっても通いたい」と好評を得ている。
		《新規》シニアファイト(速読講座5回、老後あんしん講座6回、年賀状パソコン教室5回、カードマジック講座3回、女性の料理教室4回、介護保険のやさしい話3回)			不定期					30	356	新規教室。アンケートや聞き取りで、『開催してほしい』と希望があったものを即時に単発教室として開催する。好評だったものは継続教室へとランクアップ。『介護保険のやさしい話』はアンケート調査で希望があったため開催。3回講座で、包括支援センターが介護保険の仕組みについて話し、ヘルパーとデイサービスが、それぞれのサービスについて話した。また、『デイの昼食試食会』も合わせて行い大変好評。『老後あんしん講座』は、気になるけど足の踏む問題について気軽に聞ける場として好評。速読・(身近な題材での)パソコン教室は31年度から定期教室へランクアップ。老後あんしん講座・介護保険のやさしい話・女性の料理教室も継続教室となる。
		美空ひばりエクササイズ【新】			4～9月までの健康相談日					10	30	参加者が減っていた健康相談について、担当の包括支援センター職員と相談し、相談時間にDVDエクササイズを無料実施したことで、これまで相談に来たことがなかった方も参加して下さるようになった。健康相談者が増加したため、前期でエクササイズは終了した。
		ふれあい柚子湯【新】			12月21日					1	58	減っていた入浴利用者の増加を目指して実施。事前にPRを行い、柚子の日に合わせ、普段お風呂を利用される方や、地域の方などから柚子をいただき、浴場に浮かべて柚子湯を楽しんでいただいた。通常の入浴者数より多くの方にご利用いただくことができた。
		小計		86				35	356	128	989	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度					
2		継続事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		シルバーボランティア				交流事業等で、特技を生かしてのボランティア活動をしていただく。		7	55	10	89	合同事業のまつり時の出店やゲームコーナー等のボランティア、盤上ゲーム会での囲碁将棋等の講師、花餅づくり・お茶会での準備や大正琴演奏、作品展での展示準備ボランティアなどを、老人センター利用者やサークル、教室に声をかけて募り、特技を生かして活動していただいた。また、カウントには入れていないが、娯楽室の座布団や布製品の修復、縫製、足マッサー機や麻雀台など機械類・木製品の修繕、絵画やパッチワーク、木製品、写真等自主製作作品を、定期的に玄関や娯楽室等に飾ってくださる方々など、不特定多数のご利用者様が、様々な形でボランティアで活躍して下さっている。
		小計		0				7	55	10	89	
		サークル	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		パソコンサークル			第1・3金曜日	一般教室を卒業し、自主的に活動することで、いきがづくりとして就業や生活に役立つ技術を身につけてゆく。また、技術を生かしたボランティアや、慰問活動などのシニアボランティアにも繋げていくことも目標とする。		22	168	25	185	パソコンサークルは、パソコン教室卒業生の受け皿とし、生徒の疑問ややりたいことを反映した内容で授業を行っている。
		気軽に真向法サークル			第1・4火曜日			24	207	24	202	真向法サークルは、参加者同士で教えあい、和気藹藹と実施。軍歌など歌いながら、体に無理のない体操ができる、と喜ばれているが、高齢化で会員数が減っている。
		さくらの会			第1水曜日			12	126	11	110	さくらの会は、高齢化してはいるが、参加者同士教えあい、教室参加を励みにされている方もあり、生きがいがづくりの場となっている。ボランティア活動も活発で、イベント時の教室開催やスタッフなど、積極的に行ってくださっており、シニアボランティアとして活躍している。
		大正琴サークル			第2・4木曜日			23	193	23	151	大正琴サークル、書道サークル、俳句サークルは、会員募集をおたよりやチラシで行ったり、ちらしの作成方法を教えることで、活動支援している。高齢化により減少しているが、どのサークルも、地域のイベントや作品展等での発表を精力的に行い、シニアボランティアとしても活躍している。
		書道サークル			第1・3木曜日			22	117	23	135	
		俳句の会			第2金曜日			11	127	10	122	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成29年度の実施状況		平成30年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H29年度	H30年度						
		囲碁			随時			227	808	162	476	囲碁参加される方々は、イベント時のボランティアや、子どもに囲碁を教える講師なども快く受けてくださり、シニアボランティアとして活躍している。高齢化による逝去、転居、体調不良等により活動日数が減った。さくらまつりでの自由参加できる出張『ストリート囲碁』など行いPRし、新規来所につなげるなど、会員の増加に努めたている。	
		小計		0				341	1,746	278	1,381		
		ひまわりサロン	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		うさぎの会		12	第3火曜日	季節に合わせた食事と関係機関・ボランティア等と連携をとり、身近なテーマの講習、演芸等楽しい時間を過ごしていただく。			12	958	12	969	ひまわりサロン活動として長年継続。老人センターは、講師や一芸団体の紹介、教室発表、事務局手伝いなど連携をとっている。月一回の機会を楽しみにおしゃれをして出かけてみえる方が多く、地域の高齢者の情報交換や安否確認の場ともなっている。地域の団体発表や、地域の区長、議員、警察の話など、地域の情報収集の場としても充実している。15年以上開催するひまわりサロンで、参加者も提供側も、高齢化しているが、新規会員や参加者も徐々に増え、60代の若年層にも広がりを見せている。
		小計		12					12	958	12	969	
		計		98			12	13	395	3,115	428	3,428	—

(留意事項) ※『区分欄』は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は『1』、協定書等がない自主事業は『2』を記入。

『年度評価欄』は、次の内容で記入。 1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上